

# 2014年3月期第1四半期 決算説明会

The logo for CASIO, featuring the word "CASIO" in a bold, blue, sans-serif font with a registered trademark symbol (®) to the right.

カシオ計算機株式会社

2013年8月2日

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。  
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

# 2014年3月期 第1四半期連結決算概況

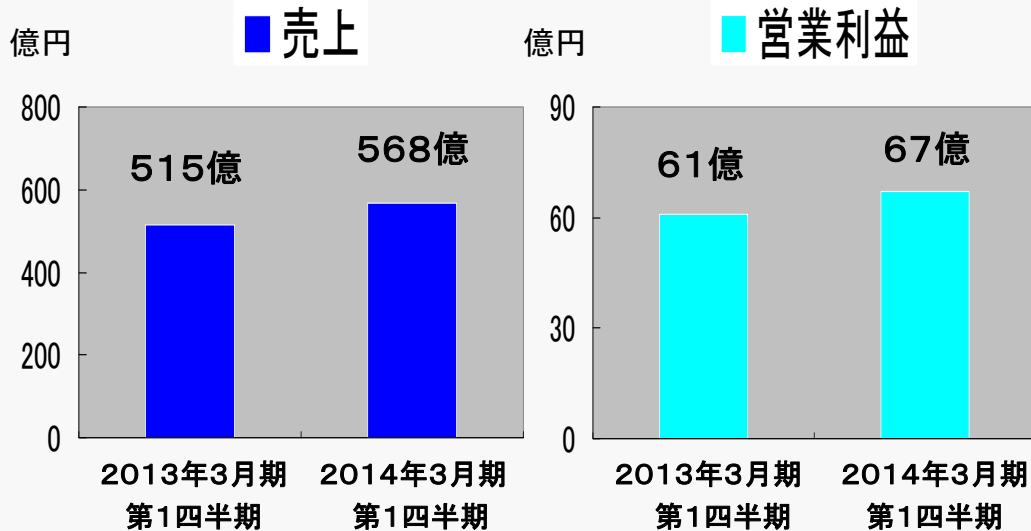
①

単位:億円

連 結	2013/3月期	2014/3月期	
	第1四半期	第1四半期	前年比 増減額
売上高	691	691	0
営業利益	37	40	+4
経常利益	28	37	+9
当期利益	16	21	+5

# 第1四半期のセグメント別概況

## コンシューマ



- ◆増収(515億→568億)
  - ・コンシューマ全般で好調
- ◆増益(61億→67億)
  - ・時計の収益性改善

## システム、その他

- ◆システム、その他ともに第1四半期減収は季節性と甲府の閉鎖によるものであり、通期計画に変更なし

# 2014年3月期決算予測

③

単位：億円

連 結	2014／3月期			
	上期計画	前年比 増減額	通期計画	前年比 増減額
売上高	1,500	+55	3,200	+222
営業利益	100	+19	250	+49
経常利益	90	+17	230	+33
当期利益	50	+6	130	+11

# 第2四半期以降の既存事業の戦略

## ◆時計

- ・ブランド製品売上構成比の拡大  
→G-SHOCK30周年記念モデル投入とプロモーション強化
- ・Bluetooth Watchを世界のメジャース마트フォンと繋げる

## ◆電子辞書

- ・海外市場の増強  
→グローバルニーズに対応したカラーコンテンツの拡充

## ◆システム

- ・タブレット端末(Paper Writer)の販売拡大  
→業種別(ライフライン、保守サービス等)の必要なニーズ  
に向けてカスタマイズされた商品提供

# 第2四半期以降の新規事業の展開

- ◆サイネージ事業とデジタル絵画事業のビジネスモデルを第1四半期までに確立
  - ◆第2四半期以降長期安定的事業拡大に向けて推進
- ＜カシオサイネージ新製品＞



## ＜カシオアート＞



# セグメント別売上・営業利益

<ご参考>

単位:億円

連 結	2014/3月期			
	第1四半期 実績	上期計画	通期計画	前年差
<b>売上高</b>				
コンシューマ デジタルカメラ、時計、電子辞書 電卓、楽器	568	1,125	2,420	+141
システム	86	210	470	+52
その他	37	165	310	+29
<b>合計</b>	<b>691</b>	<b>1,500</b>	<b>3,200</b>	<b>+222</b>
<b>営業利益</b>				
コンシューマ	67	135	305	+39
システム	▲8	▲5	0	+7
その他	▲4	0	0	+3
調整額	▲15	▲30	▲55	0
<b>合計</b>	<b>40</b>	<b>100</b>	<b>250</b>	<b>+49</b>



**END**